

循環器内科

スタッフ

医師名	役職	学会専門医・認定医
中田 精三	事業管理者	日本循環器学会【専門医】 心臓血管外科【専門医】
下山 寿	循環器内科部長	日本内科学会【指導医】【総合内科専門医】 日本循環器学会【専門医】 日本心血管インターベンション学会【指導医】
二井 理恵	副医長	日本内科学会【総合内科専門医】 日本循環器学会【専門医】
村上 智江	副医長	日本内科学会【認定医】 日本循環器学会会員
南坂 朋子	専攻医	日本内科学会会員 日本循環器学会会員
真野 圭司	専攻医	

(日本循環器学会認定循環器専門医研修施設)

特徴

特色 高血圧症、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患、不整脈、心臓弁膜症、心筋症などの循環器疾患の診療を行っている。心臓カテーテル検査、超音波検査、核医学検査、MRI、冠動脈CT(64列)等、各種検査を駆使し、患者さんの利益と長期予後という点を十分に考慮して最善の治療方針を決定している。

心臓カテーテル治療に於いては3S:Simple, Speedy, Safety をモットーとしている。

一般目標

循環器疾患の専門知識の修得と基本的検査手技の修得。

優秀な循環器内科医の育成を目標とする。

<レジデントが習得すべき検査、手技>

心臓カテーテル検査手技

経皮的冠動脈インターベンション手技

心エコー検査手技

体外式ペースメーカー挿入手技

心臓RI検査の手技と読影

心臓MRの手技と読影

心臓CT(64列CT)の手技と読影

研修について

循環器内科は、急性心筋梗塞や急性心不全など救急患者に対応し、緊急処置を行うことが多い。

初期治療が患者さんの予後を左右するための確な診断、迅速かつ適切な治療が必要とされます。そのためには、医師、看護師、臨床工学技士、放射線技士、検査技師と共にチーム医療を行う必要があります。循環器内科の研修を通して基本的な知識と技術を身につけるだけでなく、全人的な成長をも目標とすることを望みます。